

令和6年度 通常総会 議案書~~（案）~~

<議題>

- ◆日時：2024年5月29日（水）
- ◆場所：パルシステム福島 みんなの交流館
- ◆議題：
 - 第1号議案 令和5年度 事業報告
 - 第2号議案 令和5年度 会計決算報告・監査報告
 - 第3号議案 令和6年度 事業計画（案）
 - 第4号議案 令和6年度 予算（案）
 - 第5号議案 その他



令和6年5月29日（水）

於：パルシステム福島 みんなの交流館

NPO 法人いわき環境研究室

第 1 号議案. 令和 5 年度事業報告

定款第 5 条（事業）の 3 本柱（①地域環境についての調査研究および政策提言、②地域環境についての教育に係る事業、③地域環境を改善するための諸活動）に沿って報告する。

【1】地域環境についての調査研究および政策提言事業

1. 自然エネルギー施設等の利活用に関する事業

既存の施設（平諏訪神社、田人、湯の岳山荘）の維持管理

(1) 諏訪神社関連（「平窪自然塾」（H29.2 発足、運営委員 5 名）が維持管理に当たっている）

→ 水車施設を 8 月 26 日に更新。沢水を利用し稼働している。

(2) 湯の岳山荘関連

→ 運用等については、NPO 法人いわきの森に親しむ会と協議しながら設備の充実・パンフレット等の作成に当たった。

(3) 田人関連

→ 田人観光いちご園にて管理。

※今年度は、NPO 主催事業として、諏訪神社の施設を活用した。

2. 研修会・見学会等の開催、他団体主催の研修会等への参加

河川環境施設見学研修（10 月 20 日（金））福島市荒川資料室、三春ダム管理所。15 名参加。

【2】地域環境についての教育に係る事業

学校や地域における環境学習の実践とこれを担う指導者育成を通じて、環境に関する市民の意識醸成を図り、脱炭素社会実現に向けた人づくりを目指すため、いわき市の「令和 5 年度ゼロカーボン人づくり公民連携事業」に応募し、採択された。今年度は、2 本柱のプログラム構成とした。第 1 に、児童が学び、行動する環境学習（水環境、自然エネルギー等）の一層の充実強化を図っていくこと。第 2 に、市が指定する市内中学校 1 校で、ゼロカーボン教育モデル事業に係る環境教育を実施することであった。

学校の支援内容は、下記のとおりであった。

1. 好間四小の学習支援

夏井川流域ネットワークとの共催事業として実施。

(1) 第 1 回（6 月 7 日（水））：好間川水源～夏井川合流点～河口を調べるバスツアー

1～6 年生参加（30 名）

(2) 第 2 回（7 月 5 日（水））：水生生物調査（好間川）、水質調査 5～6 学年参加（13 名）

(3) 第 3 回（8 月 30 日（水））：好間川・川遊び 1～6 年生参加（31 名）

(4) 第 4 回（11 月 8 日（水））：防災環境教育（講義と模型実験等）5～6 年生（13 名）

2. 平四小学習支援「自然エネルギー」および「水防災」学習支援

今年度は、6 年生 2 クラス 66 名を対象に、平窪自然塾及び福島高専の協力をいただき、実施した。

(1) 第 1 回（6 月 14 日（水） 8:20～11:00）

自然エネルギーの重要性が高まっている理由について講義した後、自然エネルギーに関する機器・教材を使つての学習（ペルチェ素子発電、手動発電体験、ゲーム体験、水力発電、太陽光発電、風力発電）に取り組んだ。

(2) 第2回（9日13日（火）8:20～11:00）

諏訪神社において、自然エネルギー施設体験、ソーラーカー・足漕ぎ発電・火起こし体験、小水力発電に取り組んだ。校舎内では、室内温度、照明器具、体感温度の場所による違いを体験学習した。

(3) 第3回（11日15日（水）8:20～11:00）

校舎内で、「地球温暖化と近年の水災害」について講義の後に、「ジオラマによるいわきの防災施設」、「流域、河川模型」、「森林保水実験」、「砂防ダム」、「川の流れ実験」、「水災害対策」の6コーナーに分かれて、模型を使った実験と体験学習を行った。

3. 好間第一小学校・好間川の水生生物調査・水質調査

(1) 第1回（5月29日（月）8:30～11:30）5年生54名

校舎内で好間川の水環境、水生生物、魚類などの大型生物の講義
ジオラマを用いた河川構造物体験学習

(2) 第2回（5月30日（火）8:20～11:50）5年生54名

好間川・松坂吊り橋前での生物調査、流速などの測定
水質調査4点 8班に分かれて、4項目について水質分析

4. 磐崎小学校・藤原川の水生生物調査・水質調査

6月28日（水）8:20～12:00 5年生79名

水生生物調査・磐崎小学校前の藤原川
水質調査・上流、学校前、下流の3点で水質分析

5. 勿来第二中学校・ゼロカーボン教育モデル授業

7月14日（金）13:30～15:20

「温暖化影響の緩和と適応」「くらしの中の省エネルギー」講義
室内温度の場所による違い
色による熱吸収
風と水と体感温度

6. 猪苗代水環境センター主催環境学習支援

9月3日（日）9:00～12:00 小川公民館及び夏井川 40人参加

夏井川水生生物の採集及び分類・観察
夏井川の水質分析

7. 夏休み理科自由研究支援講座

(1) 夏休み自由研究応援！理科教室 小学生15名

7月8日（土）9:30～12:00 パルシステムみんなの交流館2階で開催

「暑さをやっつけて、涼しくしたい！」をテーマとした。
場所による温度の違い
熱を吸収する色
日よけ効果

風と水の体感温度

(2) 夏休み自由研究応援理科教室 植田小小名田子供会講座 19 名

7 月 28 日（金）9:30～12:00 植田公民館 2 階講義室および野外

場所による温度の違い

熱を吸収する色

日よけの効果

打ち水効果

理科自由研究のすすめ

・磐城高校 2 年生鈴木心愛さんの小学生時代の理科自由研究を紹介

【3】地域環境を改善するための諸活動事業

1. 農村水環境学習支援

(1) 赤沼地区出張講座

8 月 6 日（土）9:00～12:00 参加者は、赤沼地区子ども会 8 名。赤沼地区構造改善センター前を流れる農業用排水路において、水生生物調査を実施した。室内で水質調査（3 カ所）を行った。分析後、アルミでできたアメンボ及び浮沈子の製作を行った。

以下、以前実施していた以下の事業はコロナの影響や開催場所の関係などで引き続き中止となった。

- 1) パルシステム福島主催「商品展示会」の出展
- 2) 福島県環境教育フォーラム（三春町の環境創造支援センター主催）
- 3) 「田人多世代交流ラボ」（田人観光いちご園）
- 4) 「第 8 回こどもあい♡ネットフェア」

【4】 その他

1. 広報活動

- (1) HP の充実 → 各事業実施後、速やかに更新されるようになった。
- (2) 「ニュースレター」を発行した。 → 全会員に配布。

2. 国土交通大臣賞受賞

3 月 2 日、TKP ガーデンプレス御茶ノ水で開催の「令和 5 年度人と川をつなぐ活動成果発表会」で、活動成果の優れている団体として河川財団より国土交通大臣賞を受賞した。

3. 小学校環境教育教材の開発

自然エネルギー及び水環境関連（洪水モデル等）の学習用教材の開発を進めた。

4. 会議

(1) 総会・理事会の開催

1) 第 1 回理事会

5 月 17 日（水）パルシステム福島みんなの交流館で開催。令和 4 年度の事業報告・決算報告及び令和 5 年度事業計画・予算案が審議された。

2) 令和 5 年度通常総会

5 月 17 日理事会に引き続き同会場で開催。令和 4 年度の事業報告・会計報告・監査報告及び令和 5 年度事業計画・予算案が承認された。

3) 第 2 回理事会

5 月 17 日（水）通常総会に引き続き、役員改選を行い、理事長に原田正光さん、副理事長に中西恒雄さん、事務局長に平川英人さんを留任することが決定した。

4) 第 3 回理事会

1 月 24 日（水）パルシステム福島みんなの交流館で開催。令和 5 年度の事業中間報告・予算中間報告及び令和 6 年度事業計画・予算案が審議された。

(2)定例事業推進会議の開催

毎月 1 回事業推進会議を、パルシステム福島みんなの交流館を会場にして開催した。

これにより、事業毎に実施内容の事前打合せの機会を持つことができた。

5. 財政面の強化

(1) 各種助成金の活用

1) いわき市ゼロカーボン事業からの受託（497,200 円）

2) 河川財団の助成金の活用（546,500 円）

(2) いわき信用組合からの寄付

10 万円の寄付をいただいた。また今年度より特別会員に加入していただいた。

第2号議案 令和5年度 会計決算報告・監査報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目		予算(A)	実績(B)	差額(A-B)
I 収入の部				
1. 会費収入				
	正会員	30,000	28,000	2,000
	特別会員	50,000	60,000	△ 10,000
(小計)		80,000	88,000	△ 8,000
2. 事業収入				
	市環境まちづくり担い手育成 支援事業	500,000	497,200	2,800
	河川基金	546,500	546,500	0
(小計)		1,046,500	1,043,700	2,800
3. 寄付金収入				
	いわき信用組合	100,000	100,000	0
	その他	0	0	0
(小計)		100,000	100,000	0
4. 雑収入				
	通帳利子	0	6	△ 6
	その他	0	0	0
(小計)		0	6	△ 6
[当期収入合計]		1,226,500	1,231,706	△ 5,206

科 目		予算(A)	実績(B)	差額(A-B)
Ⅱ 支出の部				
1. 事業費				
・地域環境の調査研究および政策提言事業				
	再生可能エネルギー事業関係	150,000	33,421	116,579
	水環境学習支援	450,000	379,528	70,472
	先進地視察(県内、県外)	100,000	119,370	△ 19,370
	講演会	50,000	0	50,000
(小計)		750,000	532,319	217,681
・地域環境についての教育事業				
	小中学校教育支援	500,000	517,300	△ 17,300
	自由研究講習会経費	10,000	0	10,000
	田人地区学習支援講座	10,000	0	10,000
(小計)		520,000	517,300	2,700
・地域環境を改善するための諸活動事業				
	農村水環境学習支援	5,000	0	5,000
	子供アイネット支援事業	5,000	0	5,000
	他の団体との連携活動費	8,000	3,000	5,000
(小計)		18,000	3,000	15,000
2. 管理費				
	通信費	10,000	9,413	587
	旅費交通費	40,000	37,120	2,880
	講習会等参加費	10,000	0	10,000
	事務用品、備品費	30,000	51,369	△ 21,369
	インターネット管理費	24,000	39,241	△ 15,241
	広報費(パンフレット、ニュースレター)	10,000	10,000	0
	会議費	5,000	0	5,000
	予備費	10,000	30,805	△ 20,805
(小計)		139,000	177,948	△ 38,948
[当期支出合計]		1,427,000	1,230,567	196,433
当期正味財産増減額		△ 200,500	1,139	△ 201,639
前期繰越正味財産額		453,098		
次期繰り越収支差額			454,237	

令和5年度 会計監査 報告書

令和6年5月7日、理事から提出された令和5年度事業報告書、特定非営利活動に係る事業会計収支決算書、同貸借対照表並びに同財産目録を監査した。

1. 監査の範囲

事業報告書および会計に関する帳簿・書類の正確性ならびに妥当性について監査した。

2. 監査結果の所見

事業報告書および財産目録等は、法令に基づき当法人の財産及び収支を正しく反映しているものと認める。

令和6年5月7日

NPO 法人いわき環境研究室

監事 和田 隆 

監事 江尻 勝紀 

第 3 号議案. 令和 6 年度事業計画(案)

<方針>

令和 6 年度は、コロナ禍の影響は緩和され、社会全体の諸活動があまり制約されることがないと想定されるので、当会の主要 3 本柱に沿った諸事業を以前より増して推進していきたい。

【1】地域環境についての調査研究および政策提言事業

1. 自然エネルギー施設の利活用に関する事業

既存の施設（平諏訪神社、田人、湯の岳山荘）の活用の充実。

それぞれの施設の維持管理に当たっていただいている 3 団体（「平窪自然塾（諏訪神社）」、「NPO 法人いわきの森に親しむ会（湯の岳山荘）」、「田人観光いちご園」）と連携を保ちつつ活用に取り組んでいきたい。

2. 小学校環境教育教材の開発

自然エネルギー及び水環境関連（洪水モデル等）の学習用教材の開発を引き続き進める。

3. 研修会・見学会等の開催、他団体主催の研修会等への参加

(1)学校等での環境学習支援の担い手育成に向けて、指導者育成講座を開催する。

→ 「いわき市ゼロカーボン人づくり公民連携事業」としての受託事業として実施予定

(2)水環境・自然エネルギー等の研修会を企画する。

4. その他

他団体主催の事業への参加

【2】地域環境についての教育事業

1. 自然エネルギーに関する学習支援

社会情勢を踏まえながら、拠点 3 施設の維持管理組織と連携し、それぞれの施設に隣接する学校・公民館での教育にかかる事業に取り組む。→ 平四小等

2. いわき市内の小中学校・高校での水環境学習支援事業の推進

好間四小等の支援に取り組む。

3. 小学生対象の夏休み自由研究のための支援講座の開催

状況を見て、開催形式等、工夫して実施の方向で検討する。

【3】地域環境を改善するための諸活動事業

以下の諸事業については、主催者からの依頼があれば、積極的に対応していきたい。

1. 農村水環境学習支援（下小川開場、赤沼地区）→ 従来、夏休み前半に実施

2. 「ふくしま環境教育フォーラム」（コミュタン福島）

3. 「こどもあい♡ネットフェア」

4. 「田人多世代交流ラボ」（田人観光いちご園）

5. 他団体との連携事業

(1)NPO 法人いわき鳴き砂を守る会の諸行事への参加・支援。

(2)夏井川流域の会の活動支援。

(3)その他 要請があれば極力対応する。

【4】 その他

1. 広報活動

(1)HP の充実・更新。

(2)当 NPO の紹介パンフレットの作成と活用（毎年更新）。

2. 事務局体制の強化

→ 諸事業を効果的に推進するため、月 1 回程度の割合で、「事業推進会議」を開催する。

3. 令和 6 年度の各種事業推進のための助成金申請

(1) 河川財団からの助成（「児童・生徒対象の水環境学習プログラムの実践的活動支援事業」）として採択（4 年目）、 600,000 円。

(2)いわき市「いわき市ゼロカーボン人づくり公民連携事業」の受託事業として申請（約 50 万円）。

第4号議案 令和6年度予算(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目		予算(A)	前年度実績(B)	差額(A-B)
I 収入の部				
1. 会費収入				
	正会員	30,000	28,000	2,000
	特別会員	60,000	60,000	0
(小計)		90,000	88,000	2,000
2. 事業収入				0
	ゼロカーボン人づくり公民連携事業	500,000	497,200	2,800
	河川基金	600,000	546,500	53,500
(小計)		1,100,000	1,043,700	56,300
3. 寄付金収入				0
	いわき信用組合	0	100,000	△ 100,000
	その他	0	0	0
(小計)		0	100,000	△ 100,000
4. 雑収入				0
	通帳利子	0	6	△ 6
	その他	0	0	0
(小計)		0	6	△ 6
[当期収入合計]		1,190,000	1,231,706	△ 41,706

科 目		予算(A)	実績(B)	差額(A-B)
Ⅱ 支出の部				
1. 事業費				
・地域環境の調査研究および政策提言事業				
	再生可能エネルギー事業関係	50,000	33,421	16,579
	水環境学習支援	400,000	379,528	20,472
	先進地視察(県内、県外)	130,000	119,370	10,630
	講演会	50,000	0	50,000
(小計)		630,000	532,319	97,681
・地域環境についての教育事業				
	小中学校教育支援	500,000	517,300	△ 17,300
	自由研究講習会経費	10,000	0	10,000
	田人地区学習支援講座	10,000	0	10,000
(小計)		520,000	517,300	2,700
・地域環境を改善するための諸活動事業				
	農村水環境学習支援	5,000	0	5,000
	子供アイネット支援事業	5,000	0	5,000
	他の団体との連携活動費	8,000	3,000	5,000
(小計)		18,000	3,000	15,000
2. 管理費				
	通信費	10,000	9,413	587
	旅費交通費	40,000	37,120	2,880
	講習会等参加費	10,000	0	10,000
	事務用品、備品費	50,000	51,369	△ 1,369
	インターネット管理費	60,000	39,241	20,759
	広報費(パンフレット、ニュースレター)	10,000	10,000	0
	会議費	5,000	0	5,000
	予備費	30,000	30,805	△ 805
(小計)		215,000	177,948	37,052
[当期支出合計]		1,383,000	1,230,567	152,433
当期正味財産増減額		△ 193,000	1,139	△ 194,139
前期繰越正味財産額		454,237		
次期繰り越収支差額		261,237		